

新入生諸君へ

医学部長 原田康夫



新入生のみなさん、御入学おめでとう。
難関を乗り越えて医学部に入学され、医学、薬学、保健学それぞれの道に進まれることになった諸君に、心から歓迎の意を表することと同時に、この期にあたり、これからの勉学に望む新たな決意を促したいと思う。

— 昨今の医学、医療の進歩には目覚ましいものがあり、疾病の診断や治療には遺伝子レベ

ルでの異常の把握やその修復を図るなどの最先端科学の導入が広く用いられつつある。こうした進歩に貢献するには、未知の真実に迫ろうとする意欲とロマンが必要であり、現在の新入生諸君にはこれらが満ちあふれていると信ずるが、これを永く持ち続けることが肝要である。

一方で、医学・医療の技術の進歩とは裏腹に、医療の実践を担う者と疾病に苦しむ人々との間の信頼関係が希薄になりつつあることが指摘されている。ことに高齢人口の増加が予想される昨今では、単に先端医療の担い手となることが求められているのみでなく、病める人々の心情を理解し、生活の質を高めるべく指導性を発揮することも必要となろう。すなわち、多くの知識と情報を学びると同時に、これらを生かせる人間としての器量を兼ね備えるよう、努力すべきであろう。

今、医学部は、こうした時代の要請に応えるべく新たな医学・医療の進歩を求めて胎動しつつある。これを担い支える諸君に対して、今後の一層の精進を心より期待してやまない。

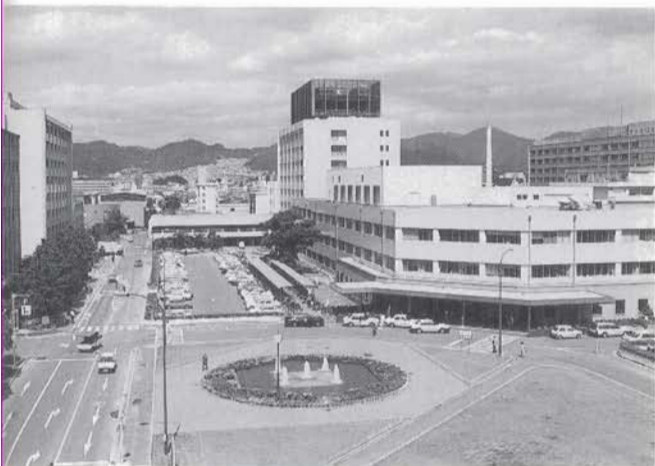
有意義な学生生活を

医学部学生 板井知美



新入生のみなさん、入学おめでとう。長く苦しい受験勉強からやっと解放され、今は、これから始まる大学での新しい生活に大きな期待と一抹の不安を抱えていることだろう。そこで、今、私のみなさんに言いたいことは、大学というのは、自分から積極的に動かなければ、じっと待っていても、何も起こらないし、変化もないところだということだ。これは多少大げさだが、私はそう思っている。

何かやってみようということがあるのなら、頭で考えるより、まず体を動かすことだ。失敗を恐れずに、どんどんいろんなことに挑戦してほしいと思う。たとえ後悔しても、それを次に生かしていけるかどうかが問題なのだから。大学四年間のように、自由な時間が持てる事は、これから先、もうないかもしれない。だからこそ、新入生のみなさんには、是非とも有意義な学生生活を送ってほしいと思う。



医学部及び同附属病院